

# 佐渡の自然とトキの 野生復帰から学ぶ 「食・農・環境」 ～人と自然の共生～

環境学習WEBサイト

<http://www.sado-ikimono.net/>

## 制作意図

### ●持続可能な開発を考えるきっかけとしてのトキ

国際保護鳥に指定され、学名「ニッポニアニッポン」としてわが国の名を冠されているトキは、かつては東アジアの広い範囲にわたって生息していました。

明治期以降、乱獲やえさ場となる水田の減少などにより生息環境が悪化し、2003年に最後の一羽だったキンの死亡により、日本における野生種としてのトキは絶滅してしまいました。

私たちは経済的に豊かな生活を求めて自然に過大な負荷をかけ、自然の循環を断ち切ってきました。その結果、多くの生物が絶滅の危機に瀕しています。

トキをはじめとする野生生物は、自然の循環が維持され、様々な生物が生息する環境の中で生きています。トキの野生復帰は、自然の循環が維持された社会システム＝持続可能な社会を創り出そうとする試みです。野生復帰を考えると、最も大きな課題はこの持続可能な社会システムをどうやって創り出すかと言う点なのです。

### ●食・農・環境を題材としたESD、佐渡

佐渡には持続可能な開発のための教育（ESD）を実現するきっかけとなる材料が、地域形成の根幹に係わるような形で存在しています。

その一つとして佐渡市では、2008年度から「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」を立ち上げています。これは農薬と化学肥料の削減と「生きものを育む農法」を組み合わせた取組です。生産された米は、佐渡コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」と名づけて販売され、売上の一部はトキ募金に寄付されています。

「佐渡の自然とトキの野生復帰から学ぶ、食・農・環境～人と自然の共生」は、「エコアイランド佐渡」を題材として「関心の喚起→理解の深化→参加する態度や問題解決能力の育成」を通じて「具体的な行動」を促す、というESDの学びのあり方に軸足を置き、子どもたちの「生きる力」を育むために全国で実施されている環境学習プログラムの支援を目的に制作しました。

# トキの最後の生息地「佐渡」



トキという生き物を知っていますか？

昔は日本各地にすんでいましたが、乱獲や環境の悪化のため減ってしまい、ついに2003年に、日本のトキは絶滅してしまいました。そのトキが最後まですんでいたのが新潟県の佐渡島です。今、トキを再び大空によみがえらせるため、環境を良くしようとする様々な取り組みが、たくさんの人たちによって行われています。この環境学習支援プログラムは、トキの野生復帰を通じて、人と環境共生のための「食・農・環境」を学ぶための教材です。

## ムービー（映像コンテンツ）

映像で学ぶ環境の島「佐渡」 ～トキを通して、人と自然の共生を学ぼう！～



### CHAPTER 1

#### オープニング

佐渡を舞台に野生復帰を目指すトキからのメッセージとは



### CHAPTER 2

#### 美しい佐渡島の自然

豊かな自然と奥深い歴史を持つ佐渡のあらましを知る



### CHAPTER 3

#### 水が綴る佐渡島

太古の時代から育まれた清らかな水の自然循環



### CHAPTER 4

#### トキの歴史

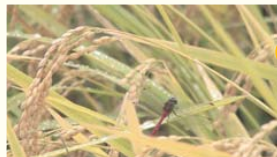
地域の人々や国や自治体、様々な立場からのトキの保護の歴史



### CHAPTER 5

#### 山と海が教えてくれること

小・中・高等学校など、地域の子もたちによる環境保全活動



### CHAPTER 6

#### 環境にやさしいお米

多くの生き物たちと一つの地域で共生するための壮大な試み



### CHAPTER 7

#### トキよ、再び大空へ

大人から子どもまで、地域の方がトキの復帰によせる夢と希望

ムービー（映像コンテンツ）のみ、DVD版があります

お問い合わせは、東京農業大学「食と農」の博物館 担当窓口まで。

## 体験学習プログラム

### 五感で学ぶ環境の島「佐渡」

#### ～体験しよう！「食・農・環境」学習プログラム～

四季折々の時節に、あるいは年間を通じてエコ・アイランド佐渡を舞台に学ぶことができる、様々な体験学習プログラムのデータベースです。

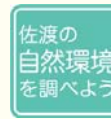
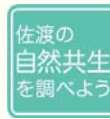


## デジタル大辞典

### 自然・生き物・伝統文化を知る

#### ～調べてみよう！「佐渡」デジタル大辞典～

ムービーや体験プログラムなどから、色々なことに興味がわいてきたら、トキのこと、佐渡の様々なことについて、知りたいことを調べてみよう。



## 専門家に聞いてみよう！

### 専門家が語る佐渡の「食・農・環境」～専門家に聞いてみよう！～

佐渡には貴重な自然環境とともにさまざまな自然資源や豊かな農山漁村固有の生活文化、歴史的資源を有しています。佐渡をフィールドとした様々な研究活動を推進する東京農業大学の先生方から見た佐渡についてのインタビューを紹介します。



「食と農」の博物館 館長  
応用生物科学部 醸造科学科  
小泉 幸道 教授



国際食料情報学部  
食料環境経済学科  
田中 裕人 准教授



国際食料情報学部  
食料環境経済学科  
上岡 美保 准教授



地域環境科学部  
造園科学科  
麻生 恵 教授



農学部  
農学科  
岡島 秀治 教授



地域環境科学部  
森林総合科学科  
宮林 茂幸 教授

■企画・監修・発行：東京農業大学「食と農」の博物館 〒156-8502 東京都世田谷区上用賀2-4-28 TEL：03-5477-4033/FAX：03-3439-6528

■制作：株式会社シーンプランニング21

■後援：東京農業大学教育後援会

■協力（敬称略）：佐渡市、環境省佐渡トキ保護センター、トキモニタリングチームのみなさん、佐渡観光協会、高野毅、菊池茂雄、大倉哲夫、高橋亮二、三國豊、片野尾集落のみなさん、河原敏子、笹野正光、トキの森公園、株式会社ゴールデン佐渡、佐渡国小木民俗博物館千石船展示館、佐渡総合高等学校、松ヶ崎中学校、小木中学校、行谷小学校、新潟大学教育学部付属新潟小学校、畑野小学校、深浦小学校、江積集落のみなさん、アミューズメントメディア総合学院声優タレント学科、SKIPシティ彩の国ビジュアル・プラザ、NPO法人環境教育推進協議会